

第9次芦屋すこやか長寿プラン2-1策定に向けた関係団体等意向調査について（案）

1. 関係団体等意向調査の目的

専門職の方、サービス事業者や認知症関係団体等からご意見をいただき、施策の方向性のための検討材料を得ることを目的に紙面等による調査を実施します。

得たい情報

- 専門職の方、サービス事業者や認知症関係団体の課題・ニーズ、アイデア、及びその実現のために必要な支援
- アンケート調査結果の傾向について、その背景・理由・原因
- 日常生活圏域ごとの地域特性、地域課題（各地域の実情） など

2. 対象団体等

- ①芦屋市医師会・芦屋市歯科医師会・芦屋市薬剤師会
- ②医療機関（市内病院3か所）
- ③芦屋市高齢者生活支援センター（4か所）
- ④芦屋市ケアマネジャー友の会
- ⑤居宅介護支援事業所（市内事業所26か所）
- ⑥芦屋市介護サービス事業者連絡会（※部会単位で調査票を送付）
- ⑦認知症関係団体※
- ⑧認知症疾患医療センター（兵庫医科大学病院）※
- ⑨高齢者生活支援センター基幹的業務担当※
- ⑩芦屋市内リハビリテーション専門職団体

※⑦～⑩については、アンケート結果及び①～⑥の関係団体意向調査の結果を踏まえ、ヒアリングを実施予定

3. 実施時期

令和2年7月～

4. 調査方法

①紙面による調査

○調査票を各団体に送付し、回収

○「芦屋市ケアマネジャー友の会」及び「芦屋市介護サービス事業者連絡会」は、併せてヒアリングも実施

②訪問によるヒアリング調査

5. 調査内容

- ・医療・介護連携
- ・地域リハビリテーション活動支援・地域ケア会議
- ・住民主体の介護予防
- ・認知症の方への支援
- ・在宅生活の継続のための支援
- ・在宅生活の継続のための支援
- ・介護サービス
- ・周知・啓発
- ・連携・ネットワーク
- ・介護人材の確保 など

関係団体への意向調査 質問項目一覧

【凡例】「前回H29」: 前回(平成29年度)にも実施した質問

「新規」: 今回(令和2年度)新規で実施する質問

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
1	前回H29	圏域	事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください(1つに○)。	1 西山手 2 東山手 3 精道 4 潮見	●	—	—	—	—	—
2	前回H29	支援地域センター包括	地域包括支援センターの業務に取り組むにあたり、どのようなことを問題や課題と感じていますか。	以下の項目ごとに自由記述 ① 総合相談業務について ② 介護予防ケアマネジメント業務について ③ 権利擁護業務について ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務について ⑤ その他()	—	—	●	—	—	—
3	前回H29 一部修正	医療・介護連携	芦屋市の医療と介護の連携について、医療機関や他の介護関係職種・団体と意見交換や情報交換などが行われていると思いますか。	1 十分に連携できていると思う 2 まあまあ連携できていると思う 3 あまり連携できていないと思う 4 連携が不十分だと思う	● 新規	●	●	●	—	—
		医療と介護の連携を進めるために、①貴事業所等が取り組めること(既に取り組んでいること)があればお聞かせください。また、②どのような取り組みを進めれば、医療と介護の連携が進むと思いますか。	以下の項目ごとに自由記述 ① 貴事業所等が取り組めること(既に取り組んでいること) ② どのような取り組みを進めれば医療と介護の連携が進むと思うか。							
4	前回H29 一部修正	医療・介護連携	地域の診療所や居宅介護支援事業所など、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか(項目ごとに○をつけてください)。	以下の項目ごとに回答 ①診療所(他医療機関) ②高齢者生活支援センター(地域包括支援センター) ③居宅介護支援事業所(ケアマネジャー) ④介護サービス事業所 ⑤行政 1 十分に連携できていると思う 2 まあまあ連携できていると思う 3 あまり連携できていないと思う 4 連携が不十分だと思う	—	—	—	—	●	—
		医療と介護の連携を進めるために、①貴病院が取り組めること(既に取り組んでいること)があればお聞かせください。また、②どのような取り組みを進めれば、医療と介護の連携が進むと思いますか。	以下の項目ごとに自由記述 ① 貴事業所等が取り組めること(既に取り組んでいること) ② どのような取り組みを進めれば、医療と介護の連携が進むと思うか。							

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護 支援事業所	ケア マネの 会	高齢者 生活支 援セン ター	サー ビス 事業 者連 絡会	市内 3病 院	3師 会
5	前回H29 一部修正	医療・ 介護 連携	芦屋市の医療と介護の連携について、介護関係職種・団体と意見交換や情報交換などが、行われていると思いますか。	1 十分に連携できていると思う 2 まあまあ連携できていると思う 3 あまり連携できていないと思う 4 連携が不十分だと思う 【上記のように思う理由】 自由記述	—	—	—	—	—	●
			医療と介護の連携を進めるために、①貴会が取り組めること(既に取り組んでいること)があれば、ご記入ください。また、②どのような取り組みを進めれば、医療と介護の連携が進むと思いますか。	以下の項目ごとに自由記述 ① 貴会が取り組めること(既に取り組んでいること) ② どのような取り組みを進めれば、医療と介護の連携が進むと思うか。						
6	新規	医療・ 介護 連携	在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。	以下の項目ごとに自由記述 ①現在の課題 ②必要と思われる支援体制	●	●	—	●	●	●
7	前回H29 一部修正	地域リ ハビリ テー ション 活動 支援 事業	現在、リハビリテーションに関する専門的知見を有する者(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)に地域ケア会議に参加してもらうなどの協力を頂いています。今後どのような場でどのような協力を得たいと思いますか。 ①協力を得たい場 ②協力方法それぞれお聞かせください。(いくつでも)	① 協力を得たい場 1 通所 2 訪問 3 地域ケア会議(援助中心・自立支援・個別事例) 4 サービス担当者会議 5 住民運営の通いの場 6 個別カンファレンス 7 その他() ② 協力方法 1 介護職員や介護サービス事業所職員等への介護予防に関する技術的助言 2 住民への介護予防に関する技術的助言 3 地域ケア会議やサービス担当者会議におけるケアマネジメント支援 4 その他()	●	●	●	●	— H2 9実 施	— H2 9実 施
8	前回H29 一部修正	地域 ケア 会議	介護予防のための地域ケア個別会議について、①どのようにすればより有効になると思いますか。また、②どのような職種の参加を希望するか、それぞれ意見をお聞かせください。 ※介護予防のための地域ケア個別会議とは、困難ケースのみを扱うのではなく、自立支援型ケアマネジメントを推進し、利用者のQOLの向上を目指すために、多職種からの専門的助言を得ることで、介護予防に資するケアプラン作成とそのケアプランに則したケア等の提供を行うものです。	以下の項目ごとに自由記述 ①どのようにすればより有効になると思うか ②どのような職種の参加を希望するか	●	●	●	—	—	—

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
9	前回H29 一部修正	介護予防	芦屋市では、介護予防教室「さわやか教室」を実施していますが、①卒業後、地域に自主的なグループが根差し、活性化していくためにはどうしたらいいと思いますか。また、②現在の課題についてもご意見をお聞かせください。	以下の項目ごとに自由記述 ① 地域に自主的なグループが根差し、活性化していく方法 ② 現在の課題	—	—	●	—	—	—
10	前回H29 一部修正	住民主体の 介護予防	地域の担い手不足、高齢者の居場所・通いの場の不足が地域の大きな課題として挙げられますが、これらの課題の解決のために、①取り組んでいることや②取り組めることがあればお聞かせください。 取り組み例：通いの場等への専門職の派遣、場所の提供など	以下の項目ごとに自由記述 ① 取り組んでいること ② 取り組めること	●	●	●	●	●	●
11	前回H29	地域支援事業	芦屋市が実施している以下の事業について、それぞれの立場での関わりの事例、課題や要望、期待することなどがあれば、お聞かせください。関わりのある事業についてのみ回答ください。	以下の関わりのある項目についてのみ自由記述 ① ひとり役活動推進事業(平成29年4月開始) 介護保険施設等や高齢者の居宅においてボランティア活動を行った場合に、活動実績に応じたポイントが付与され、たまったポイントを換金(年間上限5,000円)することができる。 ② 介護予防・通いの場づくり補助事業(平成29年4月開始) 芦屋市内で継続的な通いの場(住民どうしがより身近に、気軽に集まれる地域の居場所)を提供できる団体又は個人に運営に係る費用を助成する。 ③ 生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置し、地域資源・ニーズの把握・集約、地域資源の状況の見える化、地域資源の開発等を行う。 ④ 介護相談員派遣事業 介護相談員が施設を訪問し、利用者の不安や疑問等を聞き、事業所や行政へつなぎ、問題の改善・解決に向けて手助けをする。 ⑤ 認知症サポーター養成等事業 認知症高齢者に関する知識のあるボランティア等の人材育成や認知症サポーターの養成等を行う。	●	●	●	●	●	●

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
12	前回H29 一部修正	認知症の方への支援	認知症の方へのケア、支援にあたり、貴団体等が取り組めること(既に取り組んでいること)があればご記入ください。 また、貴団体を含め、行政や地域住民、医療機関、介護サービス事業者など関係機関において、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。 【関係機関】 ■地域住民(団体なども含む) ■介護サービス事業者 ■医療機関 ■行政 ■認知症地域支援推進員 ■高齢者生活支援センター ■居宅介護支援事業所 ■その他(例:スーパーマーケット、商店など)	以下の項目ごとに自由記述 ① 貴団体で取り組めること(既に取り組んでいること) ② 関係機関において、今後、必要な取り組み	●	●	●	●	●	●
13	新規		市民アンケートの結果、認知症に関する相談窓口の認知度が約2割となっており、認知度を上げる必要があるが、どのように周知していくことが望ましいと思いますか。	自由記述	●	●	●	●	●	●
14	前回H29		認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思えますか。	自由記述	● 新規	●	●	● 新規	● 新規	● 新規
15	新規		認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択してください。 また、貴団体において、取組の実施が可能なものや検討中のものがあれば、お聞かせください。	1 認知症サポーター養成の推進 2 認知症相談窓口の周知 3 認知症の人本人からの発信支援 4 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 5 予防に関するエビデンスの収集の推進 6 早期発見・早期対応、医療体制の整備 7 医療・介護の手法の普及 8 認知症の人の介護者の負担軽減の推進 9 成年後見制度の利用促進 10 認知症に関数る様々な民間保険の推進 11 若年性認知症に対する支援 【取組の実施が可能なものや検討中のもの】 自由記述	●	●	●	●	●	●

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
16	前回H29一部修正	在宅生活継続のための支援	要介護者の在宅生活を支えるために必要な地域での支援は、どのような支援だと思いますか。 次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択してください。	1 24時間対応の相談体制 2 介護者同士の家族の会 3 緊急時の支援体制 4 いつでも誰かと話ができる場所 5 気軽に声をかけてくれる人 6 少し困った時に手伝ってくれる人 7 有償でサービスを提供してくれる団体 8 その他()	●	●	—	—	—	—
17	前回H29一部修正		要介護者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源(【フォーマルな資源】、【インフォーマルな資源】)が不足していると思いますか。	以下の項目ごとに自由記述 【フォーマルな資源】 【インフォーマルな資源】	●	●	—	—	—	—
18	前回H29一部修正		要支援者、事業対象者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源(【フォーマルな資源】、【インフォーマルな資源】)が不足していると思いますか。	以下の項目ごとに自由記述 【フォーマルな資源】 【インフォーマルな資源】	● 新規	—	●	—	—	—
19	前回H29一部修正	介護サービス	介護保険サービスについて、芦屋市内において、今後3年間で確保又は拡充が必要と考えるサービスは何ですか。 次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択してください	1 訪問介護(ホームヘルプサービス) 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 通所介護(デイサービス) 6 通所リハビリテーション(デイケア) 7 短期入所生活介護 8 短期入所療養介護 9 福祉用具貸与 10 居宅療養管理指導 11 福祉用具購入費の支給 12 住宅改修費の支給 13 有料老人ホーム、ケアハウス 14 グループホーム 15 認知症対応型通所介護 16 小規模多機能型居宅介護(複合型サービス含む) 17 定期巡回・随時対応サービス 18 特別養護老人ホーム 19 介護老人保健施設 20 予防専門型訪問サービス 21 生活支援型訪問サービス 22 予防専門型通所サービス 23 その他() 24 特にない(充足している)	●	●	●	●	—	—

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
20	新規	介護サービス	介護保険サービスについて、芦屋市内において、サービスは充足しているが、質の高いサービスが少ないと感じるサービスは何ですか。次の項目から選択してください(最大5つまで)。	1 訪問介護(ホームヘルプサービス) 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 通所介護(デイサービス) 6 通所リハビリテーション(デイケア) 7 短期入所生活介護 8 短期入所療養介護 9 福祉用具貸与 10 居宅療養管理指導 11 福祉用具購入費の支給 12 住宅改修費の支給 13 有料老人ホーム、ケアハウス 14 グループホーム 15 認知症対応型通所介護 16 小規模多機能型居宅介護(複合型サービス含む) 17 定期巡回・随時対応サービス 18 特別養護老人ホーム 19 介護老人保健施設 20 予防専門型訪問サービス 21 生活支援型訪問サービス 22 予防専門型通所サービス 23 その他() 24 特にない(充足している)	●	●	●	—	—	—
21	前回H29	地域共生社会	地域共生社会の実現に向けた取り組みについてお聞かせください。 ①貴団体において、市民と共同して取り組めること(既に取り組んでいること)。 ②貴団体において、民間団体等と共同して取り組めること(既に取り組んでいること)。 ③協働のために、必要な環境整備などのこと。 ※地域共生社会とは…制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が、『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会	以下の項目ごとに自由記述 ①市民と共同して取り組めること(既に取り組んでいること) ②民間団体等と共同して取り組めること(既に取り組んでいること) ③協働のために、必要な環境整備などのこと	●	●	●	●	●	●

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
22	新規	市の施策	<p>高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の働く場の確保(就労機会の拡大) 2 世代間交流の場づくり 3 生きがいをもてるような活動機会の拡大 4 ボランティア活動の育成・充実 5 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進 6 地域でのリハビリテーション事業の推進 7 介護している家族への支援 8 介護保険施設(特養などの入所施設)や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実 9 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実 10 往診や緊急時の対応など医療体制の充実 11 認知症施策の充実 12 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり 13 災害時の避難誘導體制の充実 14 健康づくり・介護予防の充実 15 移動手段の充実 16 その他() 17 特にない 	●	●	●	●	●	●

番号	凡例	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	ケアマネの会	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
23	新規	介護人材の確保等	貴事業所における職員の過不足状況をご回答ください。また、不足している場合には、その理由をお聞かせください。その他貴事業所において、人材確保のため取り組んでいることがあればお聞かせください。	1 かなり不足している 2 やや不足している 3 ちょうどよい 4 やや多い 5 かなり多い 1・2を選んだ事業所について、人材不足の理由をお聞かせください。 1 費用面で雇い入れる余裕がない 2 育成・指導面で雇い入れる余裕がない 3 求人を出しても応募がない 4 雇い入れても長続きしない(離職) 5 その他() 【人材確保のため取り組んでいること】 自由記述	●	●	—	●	—	—
24	新規		介護人材の確保にあたり必要と思われるものを、次の項目から選択してください(いくつでも)	1 他産業と遜色ない賃金水準 2 介護分野へ担い手となる元気な高齢者等の参入促進(介護助手など) 3 ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進 4 リーダー的介護職員の育成とチームケアによる実践力の向上 5 介護ロボット・ICT活用推進の加速化 6 業務の効率化・負担軽減及び生産性向上のためのガイドラインの普及 7 悩み相談窓口の設置、若手職員などの交流推進 8 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信によるイメージアップ 9 研修費補助など資格取得等への支援強化 10 その他()	●	●	—	●	—	—
25	新規		介護支援専門員の業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。次の項目から負担感が高い順に5つ選択してください。	1 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意 2 課題分析のための居宅訪問 3 サービス担当者会議の開催・調整 4 ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意 5 ケアプランの交付(書類の作成) 6 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接 7 主治医や医療機関との連絡調整 8 利用者や事業者の苦情対応 9 要介護認定などの代行申請 10 介護報酬請求事務 11 夜間や休日の相談対応 12 介護支援専門員以外の相談や頼まれごと 13 ケアマネジメントの件数が多い 14 その他()	●	●	●	—	—	—